

## ○信越総合通信局長表彰

### 「電波の日」（4団体）

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
株式会社 新潟放送  (代表取締役社長 竹石 松次)	AMラジオ放送の災害時における強靭化対策として、信越管内ではじめてFM補完中継局を整備し、災害時の住民への情報伝達の確保と地域の電波利用の普及発展に寄与されました。
長野県警察本部 生活安全部  (部長 司法警察員 警視正 須江 和幸)	所轄警察署を指導し、積極的に当局と共同及び警察署独自での不法無線局の取締りを実施し、電波利用環境の保護に貢献するとともに、不法無線局の反社会性の周知啓発に大きな役割を果たしました。
新潟県警察本部 生活安全部  (部長 司法警察員 警視正 斎藤 卓也)	所轄警察署を指導し、積極的に当局と共同及び警察署独自での不法無線局の取締りを実施し、電波利用環境の保護に貢献するとともに、不法無線局の反社会性の周知啓発に大きな役割を果たしました。
一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 信越地方本部  (理事 信越地方本部長 高橋 哲也)	国際宇宙ステーションの宇宙飛行士と地域の子供達とのアマチュア無線交信において、JARLガイダンス局により違法局を排除し、電波利用秩序の維持に協力するとともに、アマチュア無線の普及発展に多大な貢献をされました。

### 「情報通信月間」（2個人、2団体）

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
こんどう すすむ 近藤 進  (新潟国際情報大学 教授)	信越情報通信懇談会新世代情報通信網委員長として、ブロードバンド利活用の調査研究を牽引するとともに、平成27年度からは情報通信利用環境委員長として、ICTサービスの環境整備に尽力されました。
まるやま やすてる 丸山 康照  (須高ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長)	地域に密着したコンテンツを全国・海外に情報発信するなど、地域振興に貢献されるとともに、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟信越支部長を歴任し、ケーブルテレビ4K放送の実現など、連盟の中核となって尽力されました。

特定非営利活動法人 SOHO未来塾 (理事長 青木 敏)	障害者の在宅勤務支援方策として、訪問によるパソコン操作の指導、インターネットを利用する仕事の紹介を行い、企業への正社員雇用を実現するなど、ＩＣＴ利活用による地域福祉の増進に多大な貢献をされました。
須坂市 (市長 三木 正夫)	市民提案型活動の支援のため、オープンデータサイトを公開するとともに、政府の電子行政オープンデータ実務者会議へ参画するなど、自治体のオープンデータ推進に多大な貢献をされました。

## ○信越総合通信局長感謝状（1団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
新潟県工業技術総合研究所 (所長 坂井 朋之)	当局が地元企業等を対象に開催した無線通信技術セミナーにおいて、共催者として積極的に協力され、電波利用の普及・促進に多大な貢献をされました。